

## 井手勝彦氏が剣道段位の最高位八段に合格！

今年5月に京都で開催された剣道八段審査において、業務本部付向出向（九州自動車リース 取締役）井手勝彦氏（57歳）が見事合格しました。

毎年、5月に京都、11月に東京で開催される剣道八段審査は、剣道段位の最高峰の審査であり、その合格率（1%前後）から「日本でいちばん難しい試験」とも言われています。そのため何十年も受け続ける剣士も少なくありません。

受験資格は、七段合格後に10年を経た者という条件があり、スピードや力だけではなく長年の修練によって培われた「理に適う技」が求められるものです。稽古量に勝る警察官

や教員などの合格者が圧倒的に多い中、現役会社員の合格は全国的にも珍しく、まさに快挙と言えます。

当社剣道部は、福岡市東区の香椎競技場内の剣道場を拠点として、現在では九州各地で約200名の部員が活動しており、剣道七段の保有者は、現役社員で18名を数えます。剣道部員の心得は「剣業一如」。更に今年4月には、「練磨」「挑戦」「結束」という「三つの意識」を新たに掲げ、仕事と剣道を高いレベルで両立していくことを目標にしています。なお、OB会である「九電剣友会」も組織され、会員相互並びに現役との親睦・交流を図っています。

井手氏の今回の八段合格は、九電剣道部の知名度を全国的に高めると同時に、実業団剣士へ夢と希望を届け、そして勇気づけるものになったことは間違いありません。

当部は引き続き剣道の修練を通じて、当社及び社会に貢献できる人材育成を行っていきたいと考えております。今後ともご声援の程よろしくお願いいたします。



〔九州電力剣道部〕